



▼5,000円競歩の部で、自己の記録を更新して5位に入賞した境競技者



国体競歩の部で見事に入賞

境競技者（上豊内区）が5位

10月12日（日）～22日（水）長崎県で開催された「長崎がんばらんば国体2014」に、境慎太郎競技者（熊本中央高3年・上豊内区）が出場し活躍しました。

境競技者は、21日（火）諫早市の県立総合運動公園陸上競技場で行われた陸上競技5,000円競歩の部で、自己ベストを更新して20分37秒05のタイムで見事第5位に入賞しました。

境競技者は6月に開催された全国高等学校陸上競技対校選手権南九州地区予選に出場して22分6秒99のタイムで優勝し、今夏の全国高等学校総合体育大会に出場するなど多数の大会で活躍しています。

2020年開催の東京オリンピック出場の可能性のある県関係の将来有望な選手を集中的に育成・強化し、多くの出場者を生み出すことを目的として、県教育委員会が選出する「2020東京オリンピック育成指定選手」にも選ばれており、今後の活躍が期待されます。

児童の豊かな心を育てる

乙女小学校で『熊本の心』公開授業

9月30日（火）乙女小学校（岡本秀夫校長113人）で、『熊本の心』公開授業および道徳教育講演会が開催されました。

同小は、平成26年度道徳教育郷土資料『熊本の心』活用事業研究推進校に指定され、子どもたちに郷土の素晴らしさを伝え、豊かな心を育成することを目的として資料を活用した授業や集会活動などを行っています。

この日は、資料を使った公開授業を実施し、熊本機能病院顧問（総合支援センター長）の山本行文さんの講演も開催されました。



▲乙女小での『熊本の心』を使った道徳の公開授業



▲祝状や記念品などを受け取る大隈スミさん（右）

100歳おめでとうございます

100歳到達者6人に祝状などを贈呈

9月26日（金）本町での平成26年度の100歳到達者（大正3年4月1日～大正4年3月31日生まれ）に祝状などが贈呈されました。

今年度の到達者は、井上美枝子さん（谷内区）、大隈スミさん（早川区）、榊ツナ子さん（町内施設入所）、寺本ヨシ子さん（同）、富永一男さん（緑町区）、守田千鶴枝さん（下田口区）の男性1人と女性5人で、合わせて6人（あいうえお順）。贈呈では、奥名克美町長が各到達者を訪問し、内閣総理大臣からの祝状と記念品を伝達。町と甲佐町社会福祉協議会（奥名克美会長）からの祝金も贈りました。

備品整備で地域活性化

古閑区自治会がコミュニティ事業で導入

古閑区自治会（岡本篤幸会長41世帯）が、「コミュニティ助成事業」を活用し、グラウンド・ゴルフ関連の備品を整備しました。

同助成事業は、住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図ることが目的。同会では、グラウンド・ゴルフを通じた交流活性化で、元気な地域づくりを目指しています。

整備の経費は、一般財団法人自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業の受託事業収入を財源として実施する「コミュニティ助成事業」で賄われました。



▲整備した備品を使用してグラウンド・ゴルフで交流



◀日用雑貨や飲食の出店が並びにぎわう市街地

市街地を彩るマーケット

10月5日（日）「甲佐蚤（のみ）の市」を開催

10月5日（日）岩下の大井手川周辺の市街地ほかで、「甲佐蚤（のみ）の市」が開催されました。

商店街の活性化などを目的に、甲佐町商工会（中村幸男会長）が主催、同会青年部（堀田高志部長）が実施。町内外から、日用雑貨、家具、衣料品、陶芸、飲食など68団体が出店しました。同部員が改装した元空き店舗では、改装作業時の写真が展示され、訪れた人に空き家・空き店舗の活用などについて考えてもらいました。

市街地にはたくさんの人でにぎわい、出店を眺めながらお気に入りの品を見つけられました。

ジャズの音色が響く秋の夜

町生涯学習センターでジャズ・コンサート



▲ギターの渡辺隆介さん（写真左）、コントラバスの小車洋行さん（中）、サックスの中田博さん（右）の美しい演奏に耳を傾ける来場者

10月4日（土）町生涯学習センターで、「オータム・ジャズ・コンサート」が開催されました。

同コンサートは、住民などに音楽を気軽に身近に感じてもらうとともに、生の芸術に触れて感動を共有することを目的に、町教育委員会が同センター自主文化事業として主催。上揚区出身でギタリストの渡辺隆介さん、サックス奏者の中田博さん、コントラバス奏者の小車洋行さんのトリオによるジャズ・コンサートに約170人が来場し、美しいジャズの音色を堪能しました。

3人はそれぞれに、九州を中心にさまざまな場所で音楽活動を展開。同コンサートでは、ジャズの代表的な曲から、「星に願いを」や「ヘイ・ジュード」などをジャズにアレンジした曲を披露しました。

来場者の中には、演奏中にノリの良いジャズのテンポに足でリズムを刻む人や曲に合わせて手拍子をする人もいて、会場は楽しい雰囲気にも包まれ芸術の秋を満喫しました。